



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第160号

発行:2019年8月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

病院併設の介護老人保健施設です

～ 地域の方々に身近で信頼できる施設を目指して ～

介護老人保健施設 リバブルケア 事務次長 加藤 恵子



介護老人保健施設リバブルケアは入所定員72名、通所リハビリテーション定員34名の介護保険施設として稼働しています。

施設入所については当施設がフジヤマ病院併設の介護老人保健施設であり、医療 ⇄ 介護サービスが絶え間なく提供される体制への期待感から利用を希望されるケースが多く、組織の強さを実感しています。

平成30年度の介護報酬改定において介護老人保健施設の基本報酬は5類型となり、介護老人保健施設に対し中間施設としての役割・在宅復帰の推進が示されました。当施設は現在「基本型」施設として運営し、在宅復帰率も高くありませんが“困っている人を助ける”という基本的な考えに基づき、ご利用者・ご家族が共に安心して日常生活を営むことができるよう貢献する施設として役割を遂行しています。又、短期集中リハビリテーションのような個別の算定項目については希望者に対し100%提供し、心身機能の向上を図っています。

施設生活では毎月、入所者を対象とした映画観賞会、料理教室（おやつ作り）や食事のイベントを開催する他、季節の行事などを企画し、ご利用者とスタッフが共に笑顔で過ごす時間が多くもてるよう取り組んでいます。

リバブル（L i v a b l e）の語源は“生き甲斐のある生活”“住みやすい環境”です。今後もご利用者・ご家族の価値観を尊重し、「利用して良かった」と言って頂ける施設を目指して参ります。

通所リハビリテーションについても多くのご利用者、ご家族、居宅介護支援事業所のケアマネジャーにフジヤマ病院と併設していることによる緊急時の対応力を期待されると共に対応実績に基づく評価も頂いています。サービス提供では個別の関わりを重視し主観的・客観的側面から利用者の心身の状態把握を行い、満足度の向上に繋がるよう努めております。

これからもフジヤマ病院、介護老人保健施設いかる野、居宅介護支援事業所フジヤマと連携しご利用者・ご家族が安心して医療 ⇄ 介護サービスを利用できる体制をもち、住み慣れた地域で一人ひとりが自分らしい暮らしができるよう地域の社会資源として貢献していきたいと思っております。富士宮市北部地域の地域包括ケアシステムの構成要素としての役目を果たすべく、これまで以上に積極的に地域活動に参加するなど顔のみえる関係づくりに努め、地域に開かれた明るく家庭的な雰囲気のある介護老人保健施設として地域の方々にとって身近で信頼できる施設でありたいと考えます。

介護老人保健施設 リバブルケア 年間行事

『介護老人保健施設 リバブルケア』では、毎月の映画鑑賞会・おやつ作りのほかに季節の行事やボランティアの方による催しなどを実施し楽しみのある生活を心掛けています。

年間行事(予定)					
1月	・書初め	・まぐろ祭り	7月	・流しソーメン	
2月	・節分豆まき		8月	・夏まつり	・かき氷
3月	・ひな祭り(寿司パーティング)		9月	・敬老のお祝い	
4月	・お花見		10月	・運動会	
5月	・新茶の会		11月	・作品展	
6月	・カラオケの会		12月	・そばうち	・クリスマス会

行事紹介



まぐろ祭り(解体ショー)



お花見(桜と春の富士山)



ボランティアによるフラダンス



流しソーメン(夏の風物詩)



七夕飾り(願いをこめて)



夏まつり(地域の方々と交流)



運動会(学生時代に還って)



作品展(個人・共同作品)



クリスマス会(クリスマスソング合唱)